

contents 編集後記 contents

いよいよ『京浜歴史科研年報』一七号が出来上がりました。多くの研究成果を提示できたものと思います。お忙しい中で論文を寄稿下さった惣田充氏・内田修道氏・奥田晴樹氏、書評を執筆して頂いた伊東富昭氏には、心より御礼申し上げます。

また、香川雄一氏のご協力により「学習活動一覽」を掲載することができました。これによって、一九九八年一月から二〇〇二年三月までの当研究会における研究動向の一端を窺い知ることが出来ます。特に、「県史を学ぶ会」の明治・大正編では関東大震災後の横浜復興をめぐる市会の動向について、幕末・開港編では横浜開港後の政治・社会的対応について多くの議論がなされました。そこでの研究成果は今後の『京浜歴史科研年報』へ積極的に還元していきたいと考えております。

なお、今号をもちまして、年報編集を担当することとなりました。内容の益々の充実を図っていききたいと思っておりますが、それには読者諸氏のご協力が不可欠です。引き続き宜しくお願い申し上げますとともに、ご指導・ご鞭撻を乞う次第であります。

(神谷大介)

京浜歴史科研年報 第一七号

発行日 二〇〇三年二月一日

編集・発行

京浜歴史科学研究会

〒二三三―〇〇〇六

横浜市港南区芹が谷五―五九―一二 大湖賢一方

電話 〇四五―八二五―三七三六

郵便振替口座 〇〇二七〇―八一―五五三五

印刷

合資会社 横浜大気堂

横浜市中央区真砂町四―四〇